

# 平成30年度 学校経営計画・学校評価

☑4月提出 ☑10月提出 ☑3月提出

全

## 高知県立清水 高等学校

高知県の教育の基本理念	(1) 学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたち (2) 郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人材	取組の方向性	①チーム学校の構築 ②厳しい環境にある子どもたちへの支援 ③地域との連携・協働
目指すべき姿	生徒一人ひとりを大切にし、保護者や地域に信頼され、生徒及び教職員が誇りと自信が持てる学校を目指す。  様々な困難を自ら克服することができるたくましい生徒 (1)個性やよさを活かし、生きていくための基礎学力と態度を身につけた生徒 (2)周囲の状況を理解し、人を思いやり、平和な社会を構築できる人間的魅力を持った生徒 (3)社会のマナーを守り礼儀を重んじ、他とのコミュニケーション力を備えた明るい生徒	目指すべき姿を実現するための取組等	・家庭学習の定着と学習規律の確立 ・自己肯定感の醸成 ・生徒支援体制の構築 ・地域と連携した課題解決学習 ・地域への情報発信

学校関係者評価	
【学力の向上】	評価 【 A 】
低学力の生徒が多く、学力差が大きい生徒たちを根気よく指導してくれています。特に、3年生のD3層が入学時よりかなり減少したと報告を受けました。また、国公立大学合格3名を含め進路実績100%はうれしく思います。今後も、生徒たちの学力向上と全員の進路保障への取り組みを切に願います。	
【社会性の育成】	評価 【 B 】
本年度より、地域の課題解決学習を行うようになったと報告を受けました。生徒たちが設定した課題に取り組む学習は役に立つと思います。しかし、地域での活動があまり見えません。我々地元の人材や資源をどんどん活用して、いずれは清水に帰ってくる人材の育成をお願いします。	
【チーム学校】	評価 【 B 】
生徒は少なくなりましたが、様々な問題を抱えている生徒たちばかりです。その生徒一人ひとりに寄り添って、親身に関わってくれています。一方、南海トラフ地震対策として高台移転の課題もあります。津波から確実に命を守るための移転ですので、一刻も早く実現できるようにその準備をお願いします。	

### 《重点項目：生徒に対する取組》

	育成を目指す資質・能力【P】	評価指標	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	年度末評価【C】	見直しのポイント【A】
学力の向上	○基礎的・基本的な知識及び技能 ○思考力、判断力、表現力 ○主体的に学習に取り組む態度(学習習慣を含む)	・基礎力診断テスト3年D3の割合35%以下 ○学校評価アンケート ・「私は毎日学習をしている」と回答したうち、30分以上の割合50% ・「私は計画的に学習に取り組んでいる」割合60%	・授業改善 ・学びなおしの機会の確保 ・学習支援員の活用により個別指導の工夫 ・課題の工夫による家庭学習時間の確保	B	・基礎力診断テスト3年D3の割合20%以下に上方修正。 ・3年D3の割合19.6%、1、2年D3の割合も着実に減少している。また、全学年平均ポイントも年ごとに上昇しており、一定の評価ができる。	・引き続き、学習への個別支援の充実を図る。 ・家庭学習時間が低いことから、宿題や課題の提示方法等を検討する。
社会性の育成	○コミュニケーション能力(かかわる力) ○キャリアデザイン能力(やりぬく力)	・「人と一緒に何かをするときは、相手の気持ちを考えて行動している」90% ・「将来の夢や目標を持っている」90% ○学校評価アンケート ・「私は高校卒業後の進路を決めている」90%	・仲間づくり合宿等の人間関係づくりの機会の確保 ・地域課題解決学習 ・体育祭 ・学習記録ノートの活用	B	・ほぼ計画通りに実施できている。学習記録ノートは行事や定期考査毎に活用できているが、検証にまでは至っていない。	・学習記録ノートは継続して取り組みたい。 ・地域課題解決学習では、課題発見のみでなく発信・提案型の成果発表会を検討する。

### 《チーム学校：教職員が取り組む項目》

	取組のねらい【P】	評価指標	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	年度末評価【C】	見直しのポイント【A】
授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。	○学校評価アンケート ・「私は授業がよくわかる」85% ・「先生の授業は、教材や教え方が工夫されている」85% ・「学校では、きめ細やかな学習指導が行われている」85%	・教科会の充実 ・研究授業及び研究協議の実施 ・教員間の相互授業参観の充実	B	・学校支援チームの訪問や初任者研修公開授業(校内)において、教科会や研究協議に深まりを感じる。	・生徒の理解度と教員の工夫努力に依然と差がある。引き続き協議や研究、研修を行いたい。
生徒理解 生徒支援	生徒一人ひとりの生活環境を十分理解し、個に応じた生徒支援を組織的に行う体制を構築する。	○学校評価アンケート ・「学校には、信頼できる先生がいる」95% ・「学校には、安心して話したり相談したりできる先生がいる」85%	・支援情報会の実施 ・事例整理シートの活用 ・チーム支援ワークシートの活用	B	・支援情報会が予定通り定期的に実施できており、生徒の見守り体制が充実してきている。	・充実してきた見守り体制を確立させる。 ・どの生徒からも「信頼できる、相談できる先生」を目指す。
教育環境の充実	安全で、安心して学校生活が送れるような教育環境の整備と教育機器の充実を図る。	○学校評価アンケート ・「学校では、施設設備、校内の環境整備が適切に行われている」保護者80%	・施設設備の修繕 ・教育機器の充実 ・災害時備蓄品の充実	C	・教科から要望の教育機器(プロジェクターやスクリーン)の整備が徐々にできてきたが、災害時備蓄品の整備はできていない。今後更に充実を図りたい。	・予算の関係もあるが、即時対応に心がける。 ・高台移転前であるが、生徒教職員の安心安全を第一に環境を整える。
学校設定項目	地域と連携し、土佐清水市の課題解決に向けた取り組みを実践する。	・地域課題解決学習の内容の還元状況 ・地域からの依頼状況	・地域課題解決学習発表会の実施 ・地域人材の活用	C	・発表会が未実施のため検証できないが、やや時間数不足で取組内容の充実が今後の課題である。	・総合的な学習(探究)の時間の時数を優先確保する。